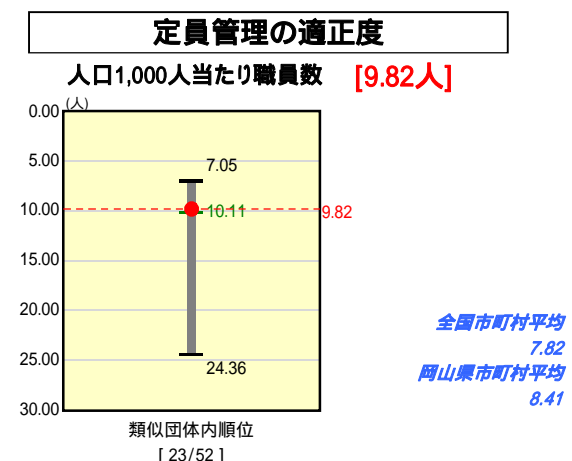
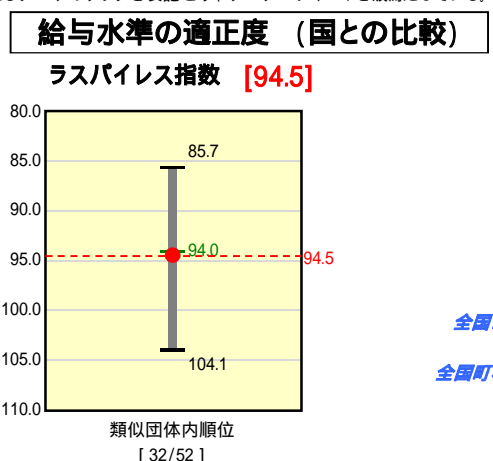
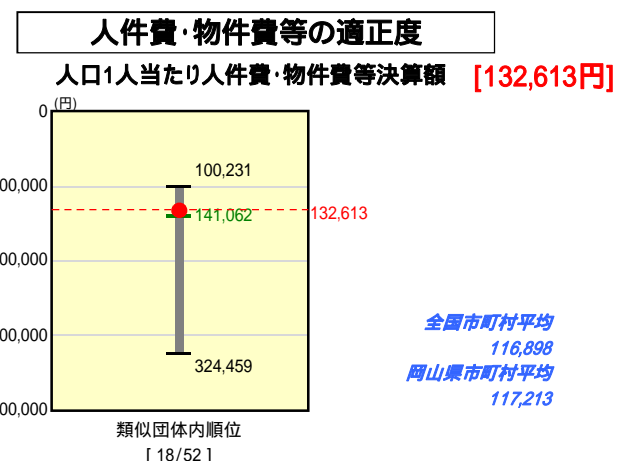
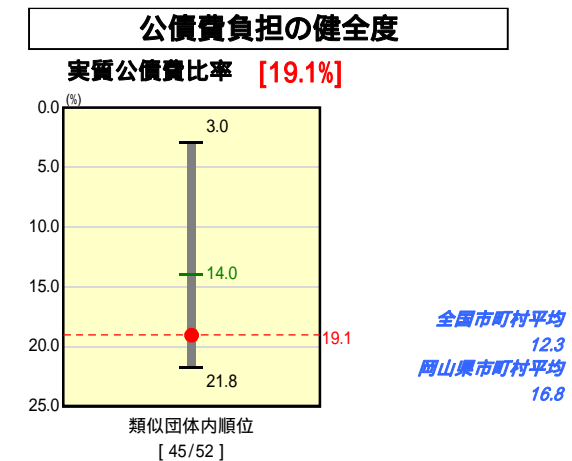
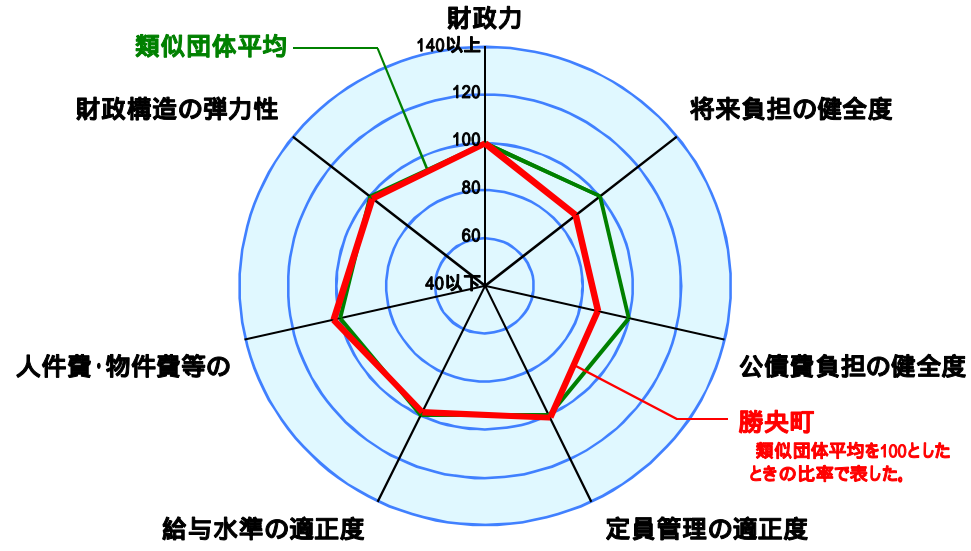
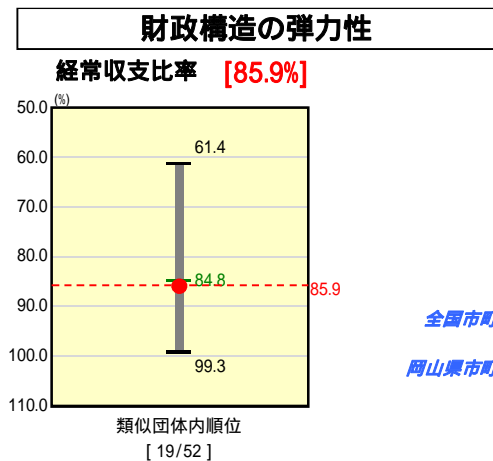
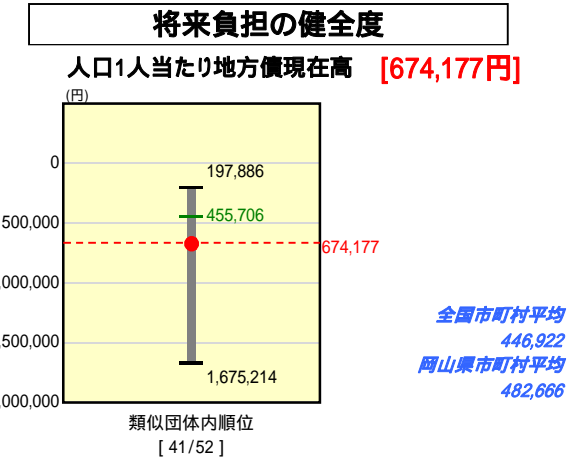
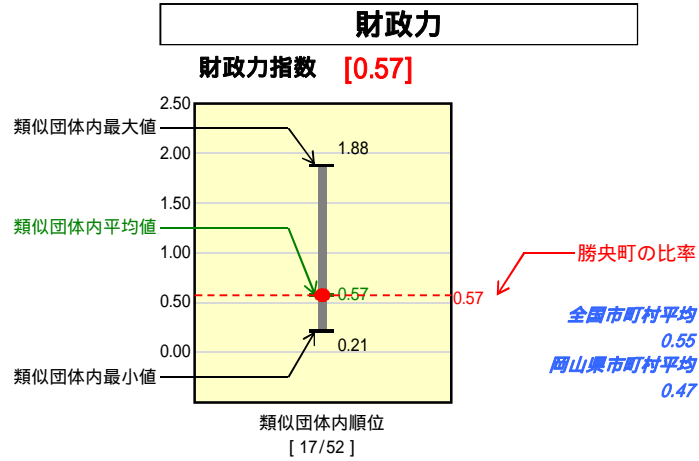


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

岡山県 勝央町

人口	11,410 人(H20.3.31現在)
面積	54.09 km ²
歳入総額	5,010,593 千円
歳出総額	4,801,036 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
勝央中核工業団地の誘致企業を中心に安定した税収があるため、類似団体平均値と同率を保っているが、景気動向などによる法人町民税等の不安定要素も考えられる。今後も企業誘致等引き続き安定収入の確保に努める。

【経常収支比率】
類似団体平均値とほぼ同率であるが、「集中改革プラン」に掲げたとおり退職補充の抑制やコピーリースの一括契約など義務的経費の削減に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
類似団体平均と比較して、人件費・物件費等の適正度が少し下回っている要因として、従来から職員手当の見直しや人員の削減などにより人件費を抑制してきたことが挙げられる。今後は、指定管理者制度の推進などによりコストの低減を図っていく必要がある。

【ラスバイレス指数】
従来から人事院勧告に従い適正な対応を行っている。職員の階層区分が均等化されておらず、一時的に上下しているものと分析される。今

【人口1人当たり地方債現在高】
類似団体平均を上回っている。主な要因は、平成13年度から平成16年度に実施した総合文化施設整備事業債(14億円)と上水道広域化出資債(13億円)等であるが、新規地方債の発行抑制により、財政健全化に努める。

【実質公債費比率】
平成13年度から実施した総合文化施設整備事業に係る地方債の償還と下水道事業に係る償還などにより上昇してきたが、平成21年度に実施する下水道料金改定と下水道整備事業完了(平成23年度予定)による繰出金の抑制で、徐々に下がる見込みである。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体と比較し、ほぼ平均的である。「集中改革プラン」に掲げたとおり人員削減を図っているが、直営の保育園(5か所)への保育士増員が必要となっている。